

令和3年7月15日

6月30日をもって、「三重県リバウンド阻止重点期間」を終了し、2週間が経過をしました。7月14日には新規感染者が33人と増加をし、注意を要する状況であるものの、病床占有率等は落ち着いており、現時点では直ちに何らかの措置を講ずるような段階ではありません。

一方、全国的には東京都に4回目となる緊急事態宣言が発出され、近隣の愛知県や大阪府においても感染者数が前週を超える日が続くなど、本県としても警戒を緩めることができない状況が続いています。

こうした状況をふまえ、本県における現在の感染傾向をご説明させていただくとともに、あらためて県民の皆さんに感染防止対策の徹底についてお願いをさせていただきたいと思えます。

直近の感染傾向を見ますと、30代以下の方の感染が増加をしており、直近1週間、7月8日から7月14日では、新規感染者の約3分の2、65.7%が30代以下の方となっており、また、外国籍と思われる方や外国につながりのある方が約半数、46%を占めています。感染経路につきましては、家族での感染が43.6%、職場15.4%、友人間12.8%、食事会9%など、家族や友人など身近なところで感染が広がる傾向があります。

(資料を掲示)これが今週の状況であります。今日は11名ということですが、感染の傾向、直近20歳未満、20代、30代、これで65.7%。3分の2がこの若い世代に集中をしているということでもあります。一方でワクチンの効果もあるのでしょうか、60代以上のところは8.3%ということで、この前6月とか5月とかと比べても少なくなっています。

一方で感染経路については、家族で43.6%、友人で12.8%ですから、この2つを足すと約6割ですし、職場、こういう身近なところでの感染が広がっているということでもあります。

また、感染された方の症状をみますと、7月1日以降に公表した事例において、発症した日に発熱のみの方が11.8%、咳や全身倦怠感、鼻づまりなどの症状のみが出ていた方が28.4%、無症状の方が16.6%と、半数以上の方が軽い症状でありました。

(資料を掲示)これを見ていただいたら分かりますとおり、のどの痛みとか倦怠感とかの1つだけの症状という人が28.4%で、発熱だけという人も11.8%。無症状が16.6%ですので、実にこれらを足した5割以上、7月に入ってから5割以上の方が軽い症状であるということですので、今から申し上げますけれども、気づきにくい、警戒しにくい、そういうことがあるのかもしれませんが、ですので、少し注意していただきたいことを今から申し上げていきたいと思えます。

こうした事例をふまえまして、県民の皆様にご注意いただきたいこととして、ご家族や友人など身近な人たちに感染を広げないために、発熱だけでなく、のどが痛い、体がだる

い、鼻水など軽い症状であっても、外出を避けるなど人との接触を減らし、家庭内でもそういう場合にマスク着用や別室で過ごすなどの対策をとり、かかりつけ医など身近な医療機関に早期に相談をお願いします。

続きまして若い世代の方々ですが、若い世代の皆様におかれましては、これから夏休みなど、普段会わない人と会う機会も増えると思われれます。友人や親族と久しぶりに会う際には気が緩み、感染防止対策がおろそかになってしまうことも考えられます。また、イギリスの事例では、ワクチン接種を行っていない若い世代で、感染者の増加が報告されています。

会話をする場合は食事中であってもマスクをしたり、屋内はもとより、屋外であっても大人数や長時間となる飲食は避けるなど、今一度、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

併せて、ワクチンを既に接種された皆様におかれましても、ワクチン接種による感染予防効果を示唆する報告も当然ありますけれども、多くの方がワクチンを接種するまでには、もうしばらく時間を要しますので、引き続きマスク着用、手指消毒など感染防止対策をお願いいたします。

感染防止対策として、マスクの着用や換気は非常に効果的で重要ではありますが、今後、気温が高い日が続くことが予想されますので、屋外では人との距離をとってマスクを外す、室内ではエアコンや扇風機などを適切に使用しながら換気を行うなど、熱中症にも十分注意してください。

(資料を掲示) 先ほど言いましたのはここですね。先ほど言いましたように基本的な感染防止対策をぜひ徹底をしていただきたいということ。ここにありますように、少しでも体調が悪い場合、5割以上の方がこの7月、軽症であるということですので、少しでも体調が悪い場合は人との接触を減らす、家庭内でも別室で過ごす、とにかく早めにかかりつけ医に相談をしていただきたいと思えます。

熱中症にも注意をしながら、マスクを着用していても、2メートル以上屋外で距離を確保したらマスクを外すとか、あるいはエアコンや扇風機を使用して換気をしていただきたいと思えます。

それから、外国籍と思われる方や外国につながるのある方の感染が増加しています。今月は14日までで46%になっています。第4波の際には、事業所などにおいて構造的に対策が実施できておらず、感染が広がったケースがありましたが、現在の感染状況においては、事業所以外での感染もみられます。言語の違い等により感染防止対策にかかる情報が届かないことのないよう、あらためてコミュニティやSNSを通じ、感染防止対策について多言語での情報発信を行ってまいります。

(資料を掲示) ここにありますとおり、第4波のときは事業所などで、同居している部屋が狭いとか、休憩室でちゃんと感染防止策が採られていないとか、あるいは派遣のところから、住まいから工場に行くときに狭い車で行くとか、こういう構造的なものがあって感染拡大につながったケースが多かったですが、直近は事業所以外での、いわゆるコミュニティでの、あとは親族間とかそういうところでの感染も増加していますので、我々として

は、あらためて感染防止対策にかかる情報がちゃんと届くように、多言語での情報発信をしっかりとっていきたいと思います。

ワクチンの接種につきましてですけれども、公的機関が発信する情報の他にも、SNS等において科学的根拠や発信者の不明な情報が多くみられます。

ワクチンの安全性や効果は臨床試験などにより確認されており、アメリカにおいて、感染者のうち入院が必要な人の99.9%、亡くなった方の99.2%がワクチンを接種していなかったという報告もあり、ワクチンの効果が表れているものと考えられます。

高齢者接種に続き、若い世代の皆様への接種の機会も広がっていますので、ご自身や大切な方を守るためにも、希望される方はワクチンの接種を積極的にご活用をお願いをしたいと思います。

また、SNSやインターネットなどで不安を掻き立てるような情報を見聞きした場合でも、そのまま信じるのではなく、科学的根拠があるか、情報源は信頼できるものであるかなど、確認をお願いします。県や国でもホームページ等で情報発信するとともに、相談窓口も設置していますので、ご活用をお願いいたします。

繰り返しとなりますが、感染された方、そのご家族、クラスター発生施設やその関係者の皆様、医療機関の皆様、県外からお越しになられた方、外国人住民の方などに対する誹謗中傷、偏見や差別につながる行為は絶対に行わないでください。

また、ワクチン接種は希望者の同意に基づき行われるものであり、職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対する誹謗中傷、偏見や差別につながる行為は絶対に行わないでください。

感染力が強いとされるデルタ株への置き換わりや、感染者が増加している東京都からの拡がり懸念される中、7月22日からの4連休、夏休み、お盆など人の移動が増加する時期となります。また、オリンピックの開会が迫り、続いてパラリンピックも開催されます。

まずは普段の生活の中で、ご自身の体調にはこれまで以上に気を配るとともに、基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。そのうえで、感染が拡大している地域への移動を避けることや、密集、密接、密閉のどれか1つにでも当てはまる場面は避けることなどを意識し、特にオリンピックやパラリンピックをご家族以外で大人数、長時間観戦することは極めて慎重に検討をお願いいたします。

県としても感染防止対策とワクチン接種を両輪として対策に取り組んでまいりますので、引き続き一緒に取り組んでいただきますようお願いを申し上げます。

メッセージは以上です。